

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

【特徴(強み)】

北海道内の他の市町村に比べ、精神障がい者の地域生活を支える社会資源（医療機関、障がい福祉サービス事業所等）が集中している。

課題	課題に解決に向けた取組状況	取組の成果
病院及びその他関係機関との連携	精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの協議の場を来年度設置するため、関係機関と協議中	来年度、協議の場設置予定
精神科病院に入院中の精神障がい者に対する地域生活移行支援	ピアサポートを活用した、精神障がい者の地域生活移行支援	個別の希望により退院支援を行うとともに、病院、居住系サービス事業者、相談支援事業者向け実践報告、研修会を実施
地域生活のための住まいの確保。精神障がい者であることで、家主が契約をしない例が見られる。	自立支援協議会“住まいのプロジェクト”の中で、精神障がい者も含めた居住支援について課題の抽出と解決策を検討中	平成30年度3区、令和元年度2区において、支援者、行政及び家主（不動産会社、管理会社含む）と意見交換会を実施

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (現時点)※	目標値 (令和元年度末)	達成状況の見込み(評価)
①協議の場の設置	調整中	調整中	令和2年度設置予定
②ピアサポートを活用した地域生活移行支援	個別支援9人 研修会実施1回	—	うち退院5人、研修会参加83人（所属：精神科病院職員、居住系事業所、相談支援事業所、行政）
③家主、仲介業者、管理会社との意見交換会	2回	—	平成30年度3回、令和元年度2回実施

※現時点の値が分かれば記入して下さい。分からない場合は、年度当初の値で構いません。

●指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。